

千葉大学医学部附属病院で加齢黄斑変性に対し 硝子体注射を受けられた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年7月1日

眼科

眼科では、加齢黄斑変性の臨床経過および硝子体内注射による治療成績に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2012年1月1日～2025年12月31日の間に加齢黄斑変性と診断され、
硝子体注射の治療を開始された方

1. 研究課題名

「加齢黄斑変性の臨床経過および硝子体内注射による治療成績に関する研究」

2. 研究期間

2026年承認日～2027年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

本研究は、加齢黄斑変性（新生血管型および萎縮型）に対する、抗 VEGF（血管内皮増殖因子）薬または補体阻害薬の硝子体内注射を受けられた方を対象に、治療後の経過や効果、副作用などについて調べます。各薬剤の有効性、安全性および治療上の特性を明らかにし、個々の患者さんに適した治療薬選択の基準を構築することを目的としています。

本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究 ID に置き換えたデータを作成します。氏名等と研究 ID の対応表は、当施設において担当者が責任をもって保管・管理し、外部には送付しません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報：年齢、性別、生活歴（飲酒・喫煙など）、職業歴、既往歴、併用薬、家族

歴、屈折値、視力、眼圧、眼底写真、OCT 画像、OCT アンギオグラフィ画像、蛍光眼底造影検査画像、網膜厚、脈絡膜厚、滲出性変化の有無、注射薬剤種類、注射投与回数、投与間隔

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 大鳥 精司

研究責任者：千葉大学医学部附属病院眼科 助教 新沢 知広

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院眼科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。

情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

眼科 医師（助教）新沢 知広

043（222）7171 内線6804